

認定こども園ひまわり幼稚園

認定こども園第三者評価結果報告書

報告内容	公表／非公表	ページ
運営法人情報	公表	P1
理念・基本方針		
施設の特徴的な取り組み		
第三者評価結果の総評		P2
第三者評価結果		P3～15
第三者評価確認書類リスト	非公表	P16～P19
公開保育への取り組みの様子（写真）	非公表	P20～P26
第三者評価結果（詳細）	非公表	P27～P48

(公財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

【運営法人情報】

施設名称	認定こども園 ひまわり幼稚園
運営法人名称	学校法人ひまわり学園
施設種別	幼稚園型認定こども園
代表者氏名	理事長 川原 謙二
施設所在地	〒870-0049 大分県大分市中島中央1丁目2-18
電話番号	097-532-2506
FAX番号	097-532-7428
ホームページアドレス	http://www.himawarigakuen.com
メールアドレス	info@himawarigakuen.com
事業開始年月日	昭和22年10月22日
教職員・従業員数	28名
施設・設備の概要	敷地全体 2110.45 m ² 建築面積 117.34 m ² 延床面積 1,303.22

【理念・基本方針】

<ul style="list-style-type: none"> ・美しいものに感動できる子ども ・自分の発見や考えを表現できる子ども ・友だちと協力して意欲的に行動できる子ども ・個性豊かで創造的な子ども <p>大切なこととして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出会いを通じて子どもらに、強くやさしく生きる力を育むことを大切にしています。 ・この時期に身につけておかなければいけない生活習慣、基礎教育を大切にしています。

【施設の特徴的な取り組み】

<p>文部科学省が定める「幼稚園教育要領」における領域が示すねらいや、教育活動終了後に行う預かり保育を総合的に構成し教育計画を立案実施していきます。具体的には認定こども園の卒園までに育つことが期待される、生きる力の基礎となる自立・協働・創造などが生活体験を通して、様々な経験を積み重ねる中で、それぞれの幼児に培われることをねらいとし「生活とあそびと主体性」を大切に保育を実践しています。</p>

【評価機関情報】

評価機関名	(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構
評価実施期間	平成28年1月
評価者	(教育・保育評価委員) H27A00327 (運営管理評価委員) H27B00126
公開保育コーディネーター・支援者	認定第250037号、認定第260054号

【総評】

●総合評価

評価〔A〕

ひまわり幼稚園は「子どもたちを包み込む園舎・園庭、子どもたちを包み込む先生達、双方が合致しないという保育はできない」というコンセプトの元、平成25年12月園舎を新築した。子どもの動線が良く考えられた園舎は、「保育者と子どもの不思議」が感じられるよう、光、水、風の動きが良く考えられている。園庭も四季を感じて、子どもが主体的な活動に加わることができるよう配慮されている。

教育、運営両面で常に新しい課題に向かって改善していこうという姿勢が感じられ、子どもの学びを深めることができる良い施設であると評価する。

●特に評価が高い点、園の良さ等

子どもたちの未来を見据え、子どもの主体性の育ちを重視した保育が展開されている。特に評価が高い点として、保育者が子どもに寄り添う姿勢が挙げられる。又、園名のひまわりに象徴されるように子どもと保育者が互いに向き合う関係性が大変すばらしく、今後も園の文化として大切にしていきたい。

●課題、改善を求められる点

保育者の思いが強い保育から子ども主体の保育に変えて行く途上にあり、教育・保育が年々進化している。今後の課題としては現在の教育課程の中での子どもの育ちの評価を保育内容に合わせて改善することが求められる。又、子どもが育った姿を保護者とも共有する必要がある。

●第三者評価結果に対する法人・施設のコメント

公開保育での園内や保育を見学しての確認であったので、子どもの様子や職員の様子や動きなどをチェックしていただいていたことで、聞き取りもスムーズであった。
教育・保育に関する聞き取りや書類の確認、運営面での就業規則や安全に対する聞き取りの書類の確認があった。事前に必要書類の準備物や、確認されるであろう書類などを準備しておいたことで、すぐに書類が取り出せ説明ができた。評価の視点での聞き取りということで、緊張しながらの受け答えとなったが、自園の保育や運営について語ることでとても良い機会となった。また、自園が行っていることの自信にもつながったように感じた。また、運営に関する課題や保育に関する課題も見つかり、今後職員と話し合いながら改善していかなければならないと感じた。

第三者評価結果

I 保育の公開に伴う保育のプロセス評価

1. 事前訪問時に抽出された自覚的な良さや課題

事前訪問時の園の良さや課題を整理するワークにおいて抽出された、園の良さとして以下の項目が挙げられた。

- ・日常的に保育者間が密に話し合いをする文化が築かれている。
 - ・担任などの主となる保育者とサポートの保育者間の意志統一や連携がよくとれている。
- 又、課題としては以下の点が挙げられた
- ・子どもの興味関心に応じた子ども主体の保育を展開する。
 - ・保育内容や環境を充実させるための準備や話し合いの時間を作り出す。

2. ①公開保育実施時の課題等

ひまわり幼稚園として課題としていることを具体的な問いの形式にして公開保育参加者に伝えた。主な問いとしては以下の通りである。

- ・お店屋さんごっこを展開する中で、子ども達がそれぞれのお店でなりきって活動に取り組めるような環境構成ができていたか。
- ・作りたいもののイメージや発想が広げられるような環境であったか。
- ・保育者が個々の子どもへの個別の配慮や関わり等ができていたか。

②公開保育後のカンファレンスにおける外部のから見た良さや課題

ひまわり幼稚園では園長・主任のリーダーシップやフォロワーシップにより個々の保育者の資質が非常に高いことや結婚・出産等を経た保育者が勤め続けやすい労務環境を作り出すことで、高い専門性を維持できる体制を作ってきたことが実を結んでいることが良さとして挙げられていた。また、子どもの主体性を育むために環境の構成や教材研究にも努力されている。

一方で課題としては、子どもの主体性を尊重することを目標に挙げつつも、教育課程や、指導計画の中に従来からの保育観が残っている。

3. 事後の園内研修において整理された良さや課題ならびに課題解決の方策

公開保育後のカンファレンスで出された様々な意見やアドバイスを元に事後の園内研修を実施。課題とされていた、子どもの主体性を尊重すること保育のさらなる充実のために、個々の保育者は子どもの写真やエピソード等を用いたカンファレンスにより、さらに子ども理解を深め、さらに子どもが主体的に活動できる環境の構成に努めていくことが確認された。又、園長・主任等のリーダーを中心に子どもの主体性を大切にされた保育が教育課程にもしっかり位置付くよう1年間をかけて見直しを行うことが確認された。

II. ヒアリング等・書面等による評価

<A 教育・保育>

①子どもの人権、安全と健康

	調査項目	確認結果
1	一人一人の子どもの家庭環境や人種、文化等の違いを知り、異なる意見や価値観を認めあう心を育てよう努めている。	済・未
2	子どもや保護者、同僚を傷つけるような差別的な言葉や態度をしていない。	済・未
3	身体、性、年齢、発達の差等、生来的な差によって子どもに不当な不利益を与えるような言動やシステムがない。	済・未
4	園庭の環境（空間と遊具）や室内の環境（家具や動線）の安全性を、保育の中で注意・改善する視点がある。	済・未
5	子どもの成長や食べる意欲が大事にされた食育（食べることの全ての喜び）がなされている。	済・未
6	園生活に必要な一つ一つの生活習慣が、先生と子どもに、共に大切に扱われている。	済・未
7	全ての子どもが「いる」だけで認められる、心理的な安全・安心が子ども集団（学級）のなかにある。	済・未
8	園生活の中で、大切にしたい信心（特定の宗教を含む）が自然と保育に融けこみ、子どもたちに愛情や感謝の気持ちが育っている。	済・未
<p>(コメント)</p> <p>子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解する取り組みを行っている。又、子ども理解のための個別の記録を作成し適切に管理されて保育者に周知されている。</p> <p>保育の場面では、子どもの気持ちや思いを尋ねる態度が保育者に身につけていることが確認された。</p>		

②保育者の資質向上・研修

	調査項目	確認結果
1	豊かな人間性を備えた保育者になることを、園として大切に考え支援している。	済・未
2	保育者の資質向上のためには、遊びと生活の専門性を高めることが必要であるという共通理解のもとに、教育・保育が行われている。	済・未
3	自園の教育・保育理念を十分に理解し、日々の実践に活かしている。	済・未
4	公開保育を通して、教育・保育の質を高める取組ができている。	済・未
5	職場における同僚性の向上を意識し、保育者集団としての力量を高めようとしている。	済・未
6	教職員一人一人が社会人としての自覚をもち、その役割を果たすことができるように、組織的な取組をしている。	済・未
7	子どもとかかわることを喜び、子どもの遊びが豊かに展開されるような教育・保育をしている。	済・未
8	教職員一人一人が向上心を持って、研修など様々な学びの機会を得ようとする風土が園としてできている。	済・未
<p>(コメント)</p> <p>日常的に、互いの実践を見合う機会があり、それをもとに保育者同士が語り合う等、園内研修の場が確保されている。又、園の研修の記録から外部の研修にも積極的に参加していることが確認された。公開保育のカンファレンスにもおいても積極的に発言する姿が確認された。</p>		

③子ども理解・指導の計画等・環境・実践・記録振り返り

1) 子ども理解

	調査項目	確認結果
1	乳幼児期の発達の過程を踏まえながら、一人ひとりの子どもの内面的な心情や意欲をくみ取り、様々な力を培っている姿を教職員全体が理解しようとする風土を持っている。	済・未
2	子どもの姿や育ち、実践について様々な手法（日誌、環境図、エピソード、写真、動画等）を用いて記録し、一人一人の子ども理解に努めている。	済・未
3	子どもの記録を園内での振り返りや園内研修等に活用し、子ども理解の共有を教職員間で図り、必要な援助を考え環境の構成を見直したり、保育の計画に活用している。	済・未
4	遊びや活動の意味についてそれが子どもの成長とどう関連しているのか？記録を通じて理解し、実践に繋げようとしている。	済・未
5	園での子どもの育ちを保護者と共有しようと心掛け、家庭環境や家庭での育ちの状況も考慮しながら、子ども理解の幅を広げようと努めている。	済・未
6	特別な配慮を必要とする子ども一人一人の理解に努め、その子に応じた個別の指導計画を作成し、必要な援助を組織的、計画的に実践につなげている。	済・未
7	特別な配慮を必要とする子どもの家庭や専門機関、小学校等とも連携しながら、家庭支援や引継ぎ等における特別支援教育の幅広い環境整備を心掛け、多面的なアプローチで子ども理解を図っている。	済・未
<p>(コメント)</p> <p>様々な記録により子どもを多面的に理解するように努めていることが確認された。また、保育参観、ビデオカンファレンス、保護者会活動等などの機会を設け保護者自身が子どもの姿を実際に見て理解できるように努力していることが確認された。</p>		

2) 教育・保育の計画

	調査項目	確認結果
1	幼稚園ないし幼保連携型認定こども園の全体的な計画における教育課程と指導計画は、子どもの発達から、自園の教育・保育理念と、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に即して作成している。	済・未
2	子どもの発達の過程や発達の連続性を見据え、各園の教育・保育の理念や目標に基づいた保育計画によって実践を展開するために月案や週案等を作成して、実践につなげている。	済・未
3	日々の実践を振り返り評価し、明日の実践に反映し、教育・保育の質が向上するように計画を見直している。	済・未
4	個別に対応する必要がある場合については、個別の指導計画を作成している。	済・未
5	保護者の理解と支援の下に実践ができるように幼稚園ないし幼保連携型認定こども園の全体的な計画における教育課程は、保護者等に開示されている。	済・未
6	幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解が深まる仕組みがある。	済・未
7	計画は実践につながりながら、気候やその日の子どもの状態等に即して柔軟な対応がなされている。	済・未
<p>(コメント)</p> <p>教育課程と指導計画は、自園の教育・保育理念と、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領等に即して作成されている。又、週案、日案等で計画されたことは、実践の振り返りを基に、翌日、翌週の実践へとつながっていることが確認された。</p>		

3) 環境の構成

	調査項目	確認結果
1	<園舎等の空間>子どもたちが遊び込むことができる時間の配慮、自由な遊びコーナーなど、子どもの自主性・自発性を尊重すると共に、子ども同士のかかわりや遊びが豊かに行われる空間環境が工夫されている。	済・未
2	<遊具・家具・絵本・廃材などについて>子どもの成長に合わせた遊具や絵本が、子どもの手の届く場所に適切な量で用意され、子どもが自由に選び、興味をもってかかわり、考えたり、試したりして工夫して遊びを展開できるよう配慮されている。	済・未
3	<園庭について>外気に触れ、自然を感じ、興味を持って自ら移動、探索する楽しさを存分に味わい、体を動かす楽しさを味わうことができ、かつ、子どもが安心して遊べる安全面に配慮された園庭等が確保されている。	済・未
4	<動植物の飼育、栽培について>身近な動植物に親しみを持って接し、飼育や栽培を経験することで生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする環境が確保されている。	済・未
5	<リズム・造形等の表現活動などについて>リズム・造形等の多様な表現活動を経験でき、自ら興味を持ってかかわり楽しめる工夫や継続して活動できるような環境の構成がされている。	済・未
6	<数量・図形・文字標識などの環境について>数量や図形、文字や標識に自然に触れ合えるような環境が工夫されている。	済・未
7	<衛生管理について>施設内の清掃が行き届いており、保育室・トイレ等の清潔が保たれ、子どもたちが使用する備品類の消毒が行われている。また、自分の健康に関心を持てる工夫や、病気予防のための配慮がされている。	済・未
8	<メンテナンスについて>手洗い場や机・椅子等、子どもの身体にあった大きさを整えられ修繕されている。	済・未
<p>(コメント)</p> <p>屋外には四季を感じられる植栽や園庭環境があり、子どもたちが興味や関心を持ちイメージを広げて遊んでいる。屋内では、十分な量の絵本が揃えられ、豊かな環境となっている。</p>		

4) 実践

	調査項目	確認結果
1	<p>乳幼児期にふさわしい生活が展開されている。</p> <p>(1)子どもが保育者を信頼し、自分が受け入れられ見守られているという安心感を持って生活できるような配慮をしている。</p> <p>(2)興味や関心に基づいた直接的、具体的な体験の積み重ねを大切にした教育・保育が行われている。</p> <p>(3)子どもが友達と十分にかかわって生活できるような配慮をしている。</p> <p>(4)子どもの発達の過程に応じて、適切な運動と休息をとることができるようにしている。</p> <p>(5)在園時間の異なる子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている。</p>	済・未
2	<p>子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している。</p> <p>(1)子どもが主体的に、遊び込める時間と空間を保障している。</p> <p>(2)子どもが自分の目的を持って、考えたり、試したり、工夫したりする過程を大切にしている。</p> <p>(3)子どもの主体的な活動を促すために、保育者が多様なかかわりを持ち、様々な役割を果たすように努めている。</p> <p>(4)子どもが周囲の自然に親しみをもち、それらを生活や遊びに取り入れたり、生命を大切にす気持ちが養われたりするような援助をしている。</p> <p>(5)子どもの発達の過程に応じて、協同して遊ぶ活動を取り入れ、友達同士が互いの存在を認め合い、一緒に遊ぶ楽しさや喜びが味わえるような援助をしている。</p>	済・未
3	<p>遊びを通した総合的な指導を行っている。</p> <p>(1)子どもが主体的に環境にかかわって遊びを展開する中で、心身の発達にとって必要な経験が相互にかかわりながら積み重ねられている。</p> <p>(2)子どもが発達していく姿を様々な側面から総合的に捉え、指導している。</p>	済・未
4	<p>子ども一人一人の特性や発達の過程に応じた指導をしている。</p> <p>(1)子ども一人一人の発達の過程や生活環境等を把握し、その子の発達の特性や発達の課題を理解して指導をしている。</p> <p>(2)子どもが主体的に周囲の人や物に働きかけることができるよう、環境の構成を工夫している。</p> <p>(3)子ども一人一人が自分の思いや考えを出していく中で、互いの違いを認め合い、尊重し合う心が育つような援助をしている。</p> <p>(4)特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の教育・保育に当たっては、ほかの子どもとの生活を通して共に成長できるように援助している。</p>	済・未

5	<p>行事等を通して、園生活に変化や潤いを与えられるよう工夫している。</p> <p>(1)季節の行事や誕生会等を通して、子どもが季節感や文化などを体感できるようにしている。</p> <p>(2)子どもが行事に期待感を持ち、主体的に取り組んで、喜びや感動、達成感が味わえるような配慮をしている。</p> <p>(3)園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加したりする等、子どもが地域の人々と交流し、社会に対する興味や関心を持つような機会を作っている。</p>	済・未
<p>(コメント)</p> <p>公開保育の多くの参加者からの発言から、ひまわり幼稚園の保育者が適切な援助を行ったり、子どもが自分の力でいろいろな活動に取り組めるように配慮したりしていること確認された。</p>		

5) 記録・振り返り

	調査項目	確認結果
1	個人の記録や集団の記録、エピソード記録等、子どもの状態と園の方針や仕組み等の状況に応じて、必要な記録を適切に行っている。	済・未
2	記録を客観的に振り返ったり、保育者間で話し合ったりして、次の教育・保育の計画に活かしている。	済・未
3	適宜、保育者間のカンファレンスが行われ、実践の振り返りと適切な評価の機会がある。	済・未
4	情報共有ができる同僚性の豊かな保育者集団の中で、園としての評価結果の共有や課題発見が行われ、計画・実践に適切に反映されている。	済・未
5	園内で共有された子どもの育ちや実践の過程、または評価結果について、保護者や地域社会等の園外に向けて適切に発信し、共有していく努力をしている。	済・未
<p>(コメント)</p> <p>カンファレンスやケース会議の記録や行事計画案・行事反省会記録等の記録を確認しヒアリングを行った結果、園として記録を継続・共有する仕組みが有効に働いていることが確認された。</p>		

⑤家庭・地域連携

	調査項目	確認結果
1	小学校教育との円滑な接続のために教育・保育の内容を工夫している。	済・未
2	子どもの成長発達について保護者との連携を行い、保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている。	済・未
3	自己評価・関係者評価に取り組み、その結果を保護者や地域に伝える等、園全体で教育・保育の質の向上のために改善がなされるよう手立てを行っている。	済・未
4	子育て親育ちの場として、地域における子育ての支援に関するセンター的役割を果たしている。	済・未
5	教育時間終了後等に行われる保育は、子どもの生活にふさわしい指導計画の下に行っている。	済・未
6	地域の資源を積極的に活用し子どもが豊かな生活体験を得ることができるような機会を設けている。	済・未
<p>(コメント)</p> <p>子どもの様子や保育の意図をお便り等で保護者へ伝えたり、保護者が子育てについて気軽に話し合える連携や交流の場が確保されていることが確認された。</p>		

公開保育コーディネーターからの報告

ひまわり幼稚園は、長年にわたり建学の理念と幼稚園教育要領との整合性が適切にとられた保育を行ってきており、公開保育当日においてもその普段通りの保育が展開されていた。又、以前より保育者間での密に話し合いをする文化が築かれており、主となる保育者とサポートの保育者間の意志統一や連携もよくとれている。今回のSTEP1からSTEP5に至るプロセスにおいてもその培った風通しのよい同僚性がいかに発揮されていた。

子ども主体の保育を展開することや、保育内容とそれを充実させるための準備や話し合いの時間を作り出すことなどを園全体の課題としていたが、園長・主任のリーダーシップやフォロワーシップにより着実な進化を遂げている。労務面で保育に集中できる環境を作り出すことや、結婚・出産等を経ても高い専門性を幼稚園に還元できる体制を作ってきたことが実を結んでいる。そのような中、今回の公開保育というものがきっかけとなり、課題への評価や改善という視点だけでなく、自らの良さや強みを職員自身が実感する機会となった。

そして、今回得た自信が、園に関わる子ども・教職員・保護者にとってさらに魅力ある幼稚園作りに繋がっていくようにと、また新たに高い意識を持って園運営に取り組んでいこうとしている。ひまわり幼稚園のさらなる発展を願うとともに、公開保育を通じたこの一連のサイクルがその地域や社会全体に発信され、幼児教育の価値や意義への理解が進んでいくことを期待し報告とする。

Ⅱ. ヒアリング等・書面等による評価

< B 運営 >

① 運営体制

	調査項目	確認結果	確認・評価視点等
1	教育・保育に対する理念や方針が明確である。	済・未	
2	コンプライアンスを遵守し、管理体制を構築している。	済・未	
3	会計事務を適切に行っている。	済・未	
4	人材確保や継続して勤務できる職場環境である。	済・未	
5	教育及び保育の質を向上させるための運営体制が整備されている。	済・未	
6	適切な教育環境を維持するために必要な財源が確保されている。	済・未	
7	学校評価を実施している。	済・未	
8	適正な法人運営を行っている。	済・未	
<p>(コメント)</p> <p>学校法人としての運営体制はしっかりしている。長期にわたって安定した運営が行われており、コンプライアンスもしっかりしている。建物の新築にあたっては財務運営上問題はなく、常に子どもの教育のための施設レベルの向上に向けた取り組みが行われており、良質な法人運営が行われている。</p>			

②安全管理

	調査項目	確認結果	確認・評価視点等
1	自然災害や事故等を想定した危機管理マニュアルを策定し、訓練を実施している。	済・未	
2	保育における危機管理マニュアルを定期的に見直している。	済・未	
3	園舎、遊具及び車両の安全点検や保育環境のチェックを定期的に行い、必要に応じ改善を行っている。	済・未	
4	園児の衛生・健康管理に努めている。	済・未	
<p>(コメント)</p> <p>自然災害に対しての、マニュアルもしっかりしており、園児、教職員を含めて訓練体制も整っている。園舎遊具の安全点検は定期的に行われているが、点検時、書面でのチェックだけではなく、デジタルカメラで記録し、現状が視覚化されることを希望として伝えた。</p>			

③子育ての支援

	調査項目	確認結果	確認・評価視点等
1	学び発達の連続性を確保するために、小学校と連携をはかり、地域の関係機関や団体と交流し連携をはかっている。	済・未	
2	園児の成長を通じて、保護者の親育ちを支援する取り組みを行っている。	済・未	
<p>(コメント)</p> <p>本園を卒園した子どもが幼稚園の様々な事業に参加したり、地域の保護者も本園の子育て支援事業に参加するなど、地域の幼児教育センターの機能を十分に有している。地域の子育てに大きく貢献している。</p>			